

| | | | |
|--|---------------------------------|-------|--------------|
| 科目区分 | クラスター共通基礎科目 | | |
| 授業科目名 | 医用統計疫学基礎・演習 | | |
| 担当者名 | 野村 恭子 | 配当年次 | 1年次 |
| 単位数 | 2単位(必修) | | |
| 授業形態 | Web Class:講義・実習1～7, 演習8～15 | 実施場所 | インターネット接続環境下 |
| 開講期間 | 2025年1月31日まで | | |
| 開講曜日・時間 | 随時 | | |
| 授業の概要・到達目標 | | | |
| <p>授業の目的: 演習を通して, 臨床疫学および医学統計について理解することを目的とする。</p> <p>授業の到達目標: 演習を通して, 臨床疫学および医学統計の方法を習得し, 実践することを目標とする。</p> <p>授業の概要:</p> <p>根拠に基づく医療(EBM)の根拠とは, 疫学(Epidemiology)から得られる結果を指し, 動物実験(Experiment) から得られる結果ではない。このため, 臨床疫学と医学統計を理解し, 自らヒト集団のデータから因果関係を推定できるようになる必要がある。基礎統計から多変量解析を講義とコンピュータ演習で行う。</p> <p>また, 臨床疫学は厳密な科学的方法を用いて, 同じような疾病を有する患者群で臨床的事象の発生頻度を測定することにより, 個々の患者における予測を行う科学である。この目的は系統的誤差や偶然による誤った判断を避けることで, 妥当な結論を導き出すための臨床的観察方法を開発し応用することである。</p> | | | |
| 授業計画 | | | |
| | 講義 (講義内容) | 担当教員 | 講座名 |
| 1 | 医学研究に必要な生物統計 序論 | 野村 恭子 | 衛生学・公衆衛生学 |
| 2 | 医療統計概論 | | |
| 3 | データの要約統計<課題1> | | |
| 4 | 連続量データの比較(t検定, Wilcoxon検定)<課題2> | | |
| 5 | 一元二元配置分散分析, 多重比較法ほか<課題3> | | |
| 6 | 比率の検定, ロジスティック回帰モデル<課題4> | | |
| 7 | 回帰と相関, 重回帰モデル<課題5> | | |
| 演習 | | | |
| 8 | デモンストレーション | | |
| 9 | 応用例 | | |
| 10 | 演習 生存分析 | | |
| 成績の評価方法・基準 | | | |
| <p>WebClassにおいて教材視聴および実習45時間+自学自習45時間, 計90時間で2単位とし, 評価は総視聴時間が全講義時間の半分以上にて行う。</p> | | | |
| 問い合わせ先(氏名, メールアドレス等) | | | |
| 岩倉正浩, masa.iwakura@med.akita-u.ac.jp | | | |
| その他特記事項 | | | |
| 参考文献としては, 統計ソフト内の辞書を参照のこと。 | | | |